

作動油の劣化と交換について

劣化した作動油で機械の使用を続けると、油圧バルブの誤作動やシリンダの焼きつきなど機械の損傷を引き起こし、最悪の場合事故に繋がります。

適切な作動油の管理と定期交換をお願いします。

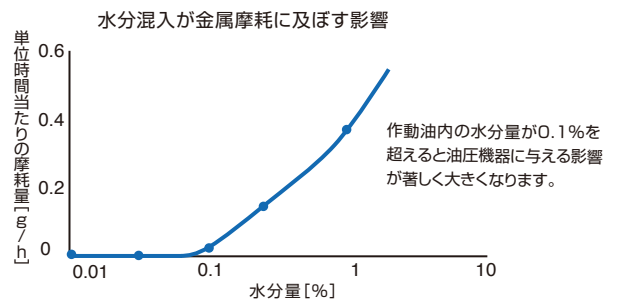
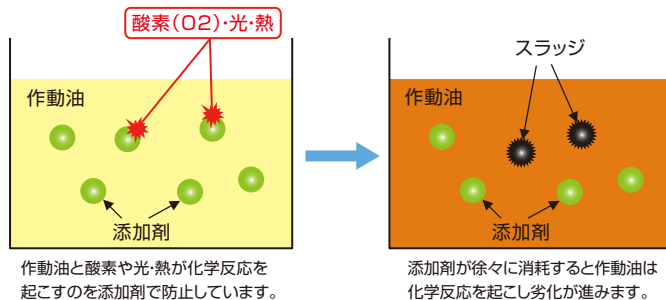
＜作動油の構成＞

- ・作動油は、ベースとなる油にいくつかの添加剤を混ぜることでグレードや効果が変わります。添加剤の性能が高いほど高寿命、高品質な作動油と言えます。



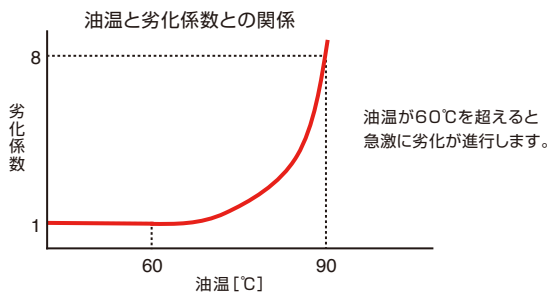
＜経年による劣化＞

- ① 酸素や光・熱の影響を受け化学反応を起こし、スラッジ(泥状の生成物)を発生させます。
- ② 酸化防止剤(添加剤)は作動油の化学反応を防ぐ役割をしていますが、働くごとに徐々に消費していきます。
- ③ 水・塵埃・金属の摩耗粉などの影響により性能を低下させます。



＜使用上による劣化＞

- ・高負荷作業や連続作業は、作動油の油温上昇を招き著しく劣化を早める原因となります。



＜管理について＞

- ・添加剤の消耗具合や作動油の劣化状態を見極めるのは困難であるため、日常点検を行い定期的な交換が必要です。

＜日常点検の確認項目＞

- ・走行状態でオイルレベルが既定の位置であるか。
- ・作動油の色が適正であるか。

※作動油使用上の注意

- ・作動油はフィルタを定期的に交換することにより性能を発揮します。フィルタも取扱説明書に基づき、定期交換を行ってください。
- ・使用されている作動油の種類については、製品の取扱説明書または作動油タンクに貼り付けてある銘板にてご確認ください。

■作動油交換時期の目安

※タダノハイドロリックオイルLL(純正)の場合

オールテレーンクレーン	4年 or 4,800H
ラフテレーンクレーン	4年 or 4,800H
高所作業車	2年 or 2,400H
カーゴクレーン	2年 or 2,400H

メンテナンスのご利用はタダノ指定サービス工場へ



株式会社 タダノ サービス企画部作成